

昔聞時編 こききんときひら 新聞記者、官僚。嘉永六年五月十五日生れ、昭
和七年一月五日歿（八五三—一九三二）。舊姓下田、幼名八藏。號天葩、天
葩學人、石鐵居士。初の安井息軒、中村敬宇の學び、のち慶應義塾に
入る。明治八年愛媛縣松山英學學校校長、十一年松山北嶽中學校校長。
翌年辭して樺太界、轉じ、十二年『鎮西公報』創刊、次ついでに朝野新聞に
『大阪日報』記者を経て、郵務入省。爾來遞信書記官、同參事官、郵
便電信學校校長、郵便電信局長等歷任。二十一年航路總局管理場所
長となり、また錦鶏閣武侯、帝國飛行協會副會長と務めた。一方漢詩
に長じ、和歌、俳句も能くした。

譯著の、ジモン、ルツセルヤング著『克蘭度氏世界漫遊記・上卷（第
一篇・第二篇）』（内題『大將格蘭士氏世界漫遊記』明治十二年十一
月金剛閣藏版）、『天葩詠草』（大正十五年一月『白鳥刊』）等。